

4 . 資金収支計算書

資金収支計算書とは、コストではなく、あくまで現金ベースで1年間の資金の流れ、収支をみるもので、市の歳出をその性質に応じて「経常的支出」「公共資産整備支出」「投資・財務的支出」の3つに区分し、それに対応する財源収入を表した財務書類です。

紀の川市の普通会計資金収支計算書の要旨は以下のとおりとなっています。
(詳細は28ページ参照)

資金収支計算書(普通会計)の要旨

〔 自 平成20年4月 1日
至 平成21年3月31日 〕

(単位:百万円)

1 経常的収支の部	平成20年度	平成19年度からの増減
経常的支出	16,461	289
経常的収入	21,788	1,170
経常的収支額	5,327	1,459

(A)

2 公共資産整備収支の部	平成20年度	平成19年度からの増減
公共資産整備支出合計	3,152	6
公共資産整備収入合計	2,476	268
公共資産整備収支額	676	274

(B)

3 投資・財務的収支の部	平成20年度	平成19年度からの増減
投資・財務的支出合計	6,631	121
投資・財務的収入合計	1,978	1,160
投資・財務的収支額	4,653	1,039

(C)

当年度歳計現金増減額(A)+(B)+(C)	2	146
期首歳計現金残高	688	148
期末歳計現金残高	686	2

紀の川市の平成20年度普通会計においては、経常的収支が5,327百万円の黒字、公共資産整備収支が676百万円円の赤字、投資・財務的収支が4,653百万円の赤字となっています。

経常的収支すなわち一般財源等の余剰分で、公共資産整備収支や投資・財務的収支の赤字を賄うことになります。平成20年度においては、経常的収支が大幅に改善し、公共資産整備収支や投資・財務的収支の赤字の増加分の大部分を賄うことができたため、歳計現金の増減がほぼ均衡しました。